

剣豪 武蔵 「孤高」にあらず 市民公開講座

熊本地震から7年、球磨川の7月豪雨から3年が経とうとしています。

周知の通り道路や橋などの建設は着々進んでいるようですが、未だ仮設住宅に入居されている方もおられ1日も早い全面復興が望まれます。

また、新型コロナ感染から3年が経過しウイズコロナとして共生していくことが必至となる中、特に65歳以上の高齢者には5回目のワクチン接種が促されていますが、健康で長生きするためにも接種を受けましょう。

このような中ではありますがコロナ対策を万全にしながら、令和5年4月に熊本さわやか大学校大学院15期を開講しました。

今回は市民公開講座として、熊本（肥後）にゆかりの深い宮本武蔵を取り上げ【剣豪 武蔵 「孤高」にあらず】と題して、これまでの人間像を覆す新資料の発見による見解が展開されます。

講師には、熊本大学永青文庫研究センター長稲葉継陽教授をお迎えし、膨大な資料から肥後細川藩と宮本武蔵との関係等をご講演して頂きます。

先ごろ、熊本日日新聞に掲載された記事で宮本武蔵は孤独の中で「五輪書」を書いたと言う説がありますが、今回の発見では、各種の文献などからそうではなく幅広く一流の専門家(儒学者・藩主など)などと交流し、開かれた兵法家であり、政治・文化など諸般にわたって統治者の藩主細川忠利や細川光尚にアドバイスを行っていたことなどが分かったというものです。

より多くの方々に熊本の歴史の一端を担った宮本武蔵という人物像をご理解いただける機会ですので、気軽にご参加ができますように「森都心プラザホール」での「市民公開講座」と致しましたので、皆様のご家族やお知り合いの方達にもご案内いただければ幸いです。

さわやか大学校卒業生並びに市民の皆様のご参加をお待ちいたします。

最後になりましたが、この宮本武蔵像は、公益財団法人 島田美術館より提供いただきました。

熊本さわやか大学校大学院
学長 金子 裕

(いなば つぐはる)

稲葉 継陽 氏 プロフィール

日本史学者。専門は日本中世史・近世史。

学位は文学博士(立教大学)

現在は熊本大学永青文庫研究センター長 教授

【略歴】

1967年 栃木県生まれ

1990年 立教大学文学部史学科卒

1996年 立教大学大学院文学研究科博士課程退学

「戦国時代の荘園制と文学」で文学博士に(立教大学)

2000年 熊本大学文学部助教授

2007年 熊本大学文学部准教授

2009年 熊本大学永青文庫研究センター長 教授

聴講希望者の申込締切日 : 5月9日(火)

今回の講座は、市民公開講座です。聴講の申込みについては、以下の通りです。

- さわやか大学校卒業生は、所属するOB会事務局にお申込み下さい。
現役さわやか大学30期生のお申込みは、各班の班長が取りまとめのうえ、さわやか長寿財団へお渡し下さい。
- ご家族、友人知人の申込は、自分の所属するOB会事務局にお申込み下さい。
- 一般の方の申込は、大学院事務局へ事前のお申込みをお願い致します。
ハガキ、又はFAX文面に『剣豪武蔵』と明記のうえ、参加者全員の
〒、住所、氏名、電話番号、携帯番号を記載して下さい。

熊本さわやか大学校大学院事務局

〒861-1101 合志市合生4056-26 電話/FAX 096-242-1508